

九州森林管理局交渉（全国林野関連労働組合九州地方本部）
議事要旨

1 日 時 平成26年4月22日（火） 16:00～17:00（60分）

2 場 所 九州森林管理局 会議室（4階）

3 出席者

九州森林管理局	森脇 和正	総務企画部長
同	中山 浩次	計画保全部長
同	矢野 彰宏	森林整備部長
同	工藤 孝	森林整備課長
同	古閑 博行	資源活用課長
同	古島 勝美	総務課長補佐（総務担当）

全国林野関連労働組合九州地方本部

同	永山 博美	執行委員長
同	園田 清隆	副執行委員長
同	甲斐 和幸	書記長
同	加藤 吉征	執行委員
同	山下 和也	同
同	古澤 寿光	同
同	中島 純也	同

4 交渉事項

- （1）業務に係る労働条件への影響について
- （2）主伐再造林の拡大に伴う実行体制における職員の影響について
- （3）職員の健康安全管理対策の充実について

5 議事概要

- （1）業務に係る労働条件への影響について

組合） 一般会計に移行し一年が過ぎたが業務については、職員の労働過重など問題があったと認識している。係制からグループ制となり体制に応じた研修とすべきであるのに齟齬が生じている。また、非常勤職員の雇用事務が煩雑化し現場での労働過重が増している。これらの実態をどのように改善し職員の勤務条件の維持を図るのか。

当局） 昨年度一般会計としてスタートし、職員の協力の下、業務を進める中で問題が生じていることは認識している。研修の見直しや、非常勤職員の雇用に係る事務については改善できる部分があるか検討し勤務条件の維持増進に努めて参りたい。また、業務の分担を見直すなど業務の偏りを平準化できるよう努めて参りたい。

- （2）主伐再造林の拡大に伴う実行体制における職員の影響について

組合） 主伐再造林の推進するにあたっては、今の段階で次年度へ向けての収穫調査や苗木の調達、どのような実行体制で進めるのか見えてこない部分がある。主伐の調査の増加など職員の労働過重等が懸念されるがどうか。

当局) 主伐再造林については、各署等との意見交換を行い、増加する主伐の調査への対応として、調査方法の改善や外部委託の活用等を検討して参りたい。なお、これらに係るプロジェクトも立ち上げ検討しているところであり、職員の勤務条件が低下しないよう努めて参りたい。

(3) 職員の健康安全管理対策の充実について

組合) 職員災害については、25年度は減少したものの、一歩間違えば重大災害に繋がりがねない災害もあったがどうか。

当局) 昨年6月から5ヶ月間連続無災害であったが、11月に3件発生するなど計7件発生した。緊張感をもって指導しているが、今後も指導不足がないよう努めて参りたい。

組合) 災害防止対策の指導がキチンと現場まで認識されているのか。再任用職員、非常勤職員も多数いるが分け隔てのない指導を行っているか。また、心の健康についても防止対策について指導を十分に行っているのか。

当局) 前年度の災害の内容では、歩行中の足下の確認不足等に起因する災害が多く見られた。高齢とともに自分の認識と違い足が上がらないなどのことがある。こうしたことも十分に認識し安全指導を工夫し災害防止に努めて参りたい。

心の健康については、風通しのよい職場雰囲気づくりに努め、目配り、気配りを十分に行い防止に努めて参りたい。

組合) 健康安全協議会について署等での開催状況はどうか。また、内容について把握しているのか。

当局) 1ヶ月おきに開催しているが、一部において2ヶ月空いたところがあった。報告のあり方等について今後検討して参りたい。

組合) 林道の安全確保については、事業実行に不可欠な林道は適切な管理がなされ、安全に走行できるよう維持管理を十分に行い、災害防止に努めるべきと考えるがどうか。

当局) 林道における車両の安全運行は重要であり、適切な維持管理に努めて参りたい。